

(株)九州住建

代表取締役 笠 俊治 氏

柔軟な対応で “顧客第一主義”を貫く

福岡県糸島市に本社を構え、地域の住まいへの安心と快適を支える(株)九州住建。太陽光発電の販売・施工や建築リフォーム、防水・塗装工事などを手がける同社の歩みを代表取締役の笠俊治氏の言葉を交えながら紹介していこう。



時代の先を読みつつ 事業視野を広げていく

(株)九州住建は、2002年に創業した同社の前身である「共進防水」から始まった。当初は建設防水工事業を手がけていたが、07年の法人化にともない、現商号に変更。同年、ECO環境促進事業部を設立し、電気工事業許可を取得。太陽光発電パネルの販売・施工を手がけるようになった。

当時は全量買取制度や設置補助金の制度などもなく、厳しい経営が続いていた。しかし、「住まいの“快適”と“エコロジー”をつなげたい」「利益だけを考えるのではなく、環境や社会に配慮して責任を取ることができる企業でありたい」という思いを胸に、社員一丸となって事業に取り組んできた笠俊治社長は言う。

現在では、販社として特定のメーカーと専属契約を結ばず、お客さまの予算や状況に応じて対応する“提案型”の事業を行なっている。「顧客と相互にメリットを得られる提案をすることで最善の機器と施工を手がけることができます。これこそが弊社が掲げる“顧客第一主義”です」(笠社長)。

要望に応えるに必要なのは 技術と知識と信頼関係

太陽光発電ビジネスは急速な伸びを見せており、自然エネルギーに対して後押しする経営環境も整いつつある昨今、笠社長が見据えるのは“環境”という大きなテーマだ。現在では太陽光発電以外にも、将来的な需要増が見込める環境商材は数多く存在する。そのなかで、顧客や地域にとって何が必要とされるのか、何が環境に優しいのかなどを見極めなければならない。しかしそれは、販社やメーカーだけでなく、顧客である消費者も同じだ。とはいうものの、数多くの環境商材に触れる機会が少ない消費者側からすれば、その判断が非常に難しい。

そこで、同社では、顧客が気軽に立ち寄れるショールームを展開している。理想と現実の乖離を少しでもなくしたいと考える顧客の要望に応え、さまざまな商品やパンフレット、素材見本などを取りそろえている。さらに、顧客の些細な注文に対応できるように営業マンが丁寧に説明し

ながら、顧客と一緒に理想の住空間をつくり上げていくというスタイルをとっている。

「創業時より手がけてきた防水・リフォームといった建設業も、需要がある限り辞めることはありません。私どもはお客さまの声に耳を傾けながら、必要な技術や商材を模索し、それぞれの住宅事情に応じた提案を行なっていきたいと考えております」と笠社長は語る。

同社のように、技術と知識、顧客やメーカーとの信頼関係がなければ、どのような市場でも生き残ることは難しいだろう。今、環境ビジネス企業に求められているのは、さまざまな局面でも対応できる柔軟さだろう。

(藤谷 慎吾)

COMPANY INFORMATION

代表 笠 俊治
所在地 福岡県糸島市前原東1-6-3
設立 2002年5月
資本金 1,000万円
TEL 092-332-1231
URL <http://www.q-j-k.co.jp/>